



# 東京全労協

2015年4月24日 73  
東京都港区新橋6-7-1  
川口ビル6F  
TEL. 03 - 5403 - 1650  
FAX. 03 - 5403 - 1653  
発行人 纈纈 朗  
定価 1部 10円

## 15けんり春闘勝利中央総行動

### すべての労働者に賃上げを！ 労働法制改悪反対！ 原発再稼働反対！ 集団的自衛権行使容認反対！

4月9日、15けんり春闘全国実行委員会の主催で「15けんり春闘勝利中央総行動」が取り組まれた。経団連や厚労省への抗議行動と夜の総決起集会などの1日行動だ。

経団連抗議行動は、東京全労協の纈纈朗議長の司会で行われた。実行委員会の

共同代表である金澤壽全労協議長が「大企業が大幅賃上げをしたという報道があるが、中小企業労働者には厳しいままだ。与えられた賃上げを甘受することなく労働法制改悪に反対して安心して働き生活できる職場をつくらう。そのたたかいの先に様々な反動政策を行



4月9日、15けんり春闘 経団連前要請行動

なう安倍政権打倒もみえてくる」と主催者あいさつをした。

参加労組からの報告・決意表明として、争議団を中心に朝から社前行動を行ってきた東部けんり総行動、4月3日に統一ストを行つた全国一般東京労組、労契法20条裁判をたたかいストをかまえて春闘交渉を展開する郵政ユニオン東京地本、神奈川の地でユニオン運動にも力を入れる全造船関東地協、不当解雇撤回をたたかうJAL争議団、均等待遇を求めて交渉を続けるN関労の仲間たちが発言した。

参加者が経団連に向けてシュプレヒコールをあげるなかで、要請団が要請書を持って経団連ビルに向かったが、警備員によって阻止された。労働者の声を無視する経団連のひどい対応だ。

最後に、実行委員会の共同代表である柿沼陽輔大阪ユニオンネット代表の団結がんばろうて行動を終えた。

続いて、経団連ビルから厚労省に移動し、全国一般全国協の渡辺啓二書記長の司会で労働法制の改悪に反対する集会が行われた。



「1日8時間労働で生活できる賃金をかちとるのが春闘だ」（全国一般東京南部）と発言が続き、最後に東京東部労組メトロコマース支部の仲間が4日間の社前での座り込みと4月1日のストを報告し「支援に励まされた。労働者が一丸となつてたたかうことが大切だ」と決意を語った。

「非正規労働者を含むすべての労働者の賃上げ、高度プロフェッショナル制度や解雇の金銭解決制度など労働法制改悪反対、すべての争議に勝ち抜くための争議支援を掲げ、のべ1千人の参加を実現した」と総行動の報告を述べ、総行動の成功を全体で確認した。さらに、北関東ユニオンネット、宮城全労協、大阪ユニオンネット、国労、JAL争議団、全統一から発言があったほか、東京全労協の久保聡事務局長が辺野古現地へのカンパのよびかけを行なった。4月12日から東京全労協の辺野古派遣団が現地闘争に参加する。

柿沼共同代表による「厚労省は非正規労働者を増やすのではなく、企業に雇用責任を果たすように訴えるべきだ」という訴えの後、「再雇用の高齢労働者への賃金差別をゆるさない」（全統一）、「コンピューターの処理速度が速くなつて過剰労働が増えていて。労働者のためにならない法改正をしてはならない」（ネットワークユニオン）、

夕刻から、新橋・交通ビルで「すべての労働者に賃上げを！ 労働法制改悪反対！ 原発再稼働反対！ 集団的自衛権行使容認反対！」を掲げた「15春闘勝利中央総決起集会」が開催された。

司会は東京全労協の中原純子副議長。全水道東水労の上村時彦委員長の主催者あいさつに続き、全国一般全国協の平賀雄次郎委員長が1日行動の報告にたち

全造船関東地協の宇佐美雄三議長の団結ガンパロウの後、銀座デモを行った。（渡辺 学・全国一般南部）

### 2015練馬全労協春闘講座

#### 憲法はどのように労働者を 守ろうとしているのか

三澤昌樹（練馬全労協議長）

練馬全労協春闘講座を2月16日に開催しました。今回は鉄建公団訴訟主任弁護士として訴訟を牽引し、国鉄闘争を勝利的和解に導いた加藤晋介弁護士を講師として招き、「憲法はどのように労働者を守ろうとしているのか」について講演していただきました。

安倍政権は「日本を取り戻す」と称して、改憲を公言してはばかりません。日本国憲法は労働者やすべての人々を守る仕組みを体系的に作り上げています。戦後の歴史はその仕組みを骨抜きにしようとする資本と労働者の攻防の歴史です。

改憲が政治日程に具体的に上る現在、「安倍政権による生活、労働破壊と職場に憲法を活かす意義」を再確認しよう講座を企画しました。



当日は加藤弁護士のわかりやすい講演に45名の参加者は日本国憲法を守る決意を固めました。機関紙『練馬全労協第107号』より転載

# 沖縄・辺野古へ 行動派遣！

## 建設断固阻止！

沖縄辺野古新基地建設断固阻止！

米軍キャンプ・シユワブゲート前行動貫徹！  
安倍政権は沖縄県民の民意を全く無視し強権的に基地建設の準備を進めています。ゲート前での抗議行動に異常ともいえる弾圧を繰り返し、2月22日には米軍が2名の支援者を連行し、沖縄県警が逮捕するという許せない暴挙を行いました。また、3月12日には中断していた海底のボーリング調査を突然再開しました。現在でも緊迫した状況は続き、連日、海上やゲート前で抗議行動が闘われています。



現地へ到着後、直ぐにカンパと檄布を『へり基地反対協議会』へ手渡す

ています。

こうした事態に東京全労協は、4月12日、14日の間、米軍キャンプ・シユワブゲート前行動に5名の代表を派遣し、ゲート前テントに2泊して現地の闘いを貫徹してきました。

緊急支援カンパ23万500円と檄布を手渡す

連日多くの仲間が結集し闘いは熱気の渦へ

最初に辺野古テント村に行き各労組と「4・9けんり春闘総決起集会」の時に取り組んだカンパと檄布をへり基地反対協議会の安次富浩共同代表と事務局の篠原孝子さんに手渡しました。その後ゲート前集會に参加



テント前集會で、全員挨拶を行う

し連帯挨拶を行い、終日の座り込み行動に加わりました。

ゲート前では、支援者が早朝6時から海上保安庁と防衛省とボーリング調査業者の車に対し、体を張って基地に入れない行動をしています。しかし、警察機動隊が強権的に排除しようとするので激しい接触が行われています。次にゲート前をデモで練り歩き簡単な集會を行った後、テント前集



基地のフェンスに張り付けた檄布と派遣団



ゲート前で山城議長と主に『座り込みここへ』を歌う



ゲート前で米軍車両に抗議



旧ゲート前で座り込んで集會

会に移ります。集會では、各支援者の挨拶・決意表明が歌や踊りを交えながら楽しく行われています。午後7時集合やデモを繰り返して行つて新基地建設反対を訴えています。夜間の行動では、緊急事態に備えテント前から交代で24時間ゲートを監視しています。

で、今年の平和行進は工  
ネルギーを辺野古に結集  
し、新基地建設を断固阻  
止しなければならぬと、  
従来の行進コースを変更  
しゲート前座り込み行動  
や辺野古現地集會が盛り  
込まれています。



ゲート前で夜間監視を行う

東京全労協は5、17県民  
総決起集會の成功とあわ  
せて2015沖縄平和行  
進を闘い抜いてきます。

### 東京全労協常任幹事の紹介

郵政産業労働者ユニオンの伊東孝雄です。今回、常任幹事として選出されました。東京全労協のみならず、どうぞよろしく願っています。横浜生まれの45歳です。郵便局の保険課に就職して、20年以上経つた今も保険部門に携わっております。郵政ユニオンに加入している組合員の大半が郵便・集配部門で、私もユニオンでは東京地本の執行委員をしておりますが、会議のほとんどがそちらの議題が多い状態です。これは、保険



部門に問題が無いわけではなく、それだけ郵便・集配部門に問題が多いという事です。人手不足は常態的になり、夜遅くまで配達しても郵便が届かない郵便局もあります。キツイ労働条件や営業ノルマで、さらに正社員との格差もあって、せうかく新しい非正規さんが来てますますにやめてしまっています。

郵政グループは全国でも有数の非正規社員が多い会社であり、格差を生み出しています。郵政ユニオンはこの格差を無くすべく春闘をストライキで闘い、これから20条裁判を全力で闘っていきまので、皆様のご支援ご協力をよろしく願っています。

### 第86回 日比谷メーデー

働く者の団結で生活と権利  
平和と民主主義を守ろう  
労働法制の改悪反対！  
一日8時間労働制の破壊を許さない！  
福島を忘れない！  
原発の再稼働反対すべて廃炉へ！  
集団的自衛権の行使反対！  
戦争国家体制を許すな！

日時 2015年5月1日(金)  
午前9時05分  
午前9時50分  
会場 鍛冶橋コースと土橋コースを予定しています。  
日比谷野外大音楽堂とその周辺  
最大限の結集を呼びかけます。



海上保安庁・防衛省・ボーリング業者の車を止める



4月14日 朝7時10分 機動隊の暴力的な弾圧を受ける